

戦略的プロジェクト

1. 戦略的プロジェクトとは

戦略的プロジェクトは、基本計画で定める事業の中で、今後5年間で特に重点的に取り組む事業及び次期総合計画で具体的に進めていく事業を4つの基本目標ごとに整理し、「第3期桜井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に反映するものです。

国では、人口減少に歯止めをかけるという方針から、人口減少を受け止めたうえで官民連携によるまちづくりの推進、地方のポテンシャルを活かした「稼げる」産業化、GX^{*}・DX^{*}の活用など「強い」経済と「豊かな」生活環境の基盤に支えられる多様性の好循環が「新しい日本・楽しい日本」を創ることを目指す姿として地方創生を進めることとし、令和7（2025）年6月に「地方創生2.0基本構想」を閣議決定しました。

桜井市では総合計画の戦略的プロジェクトと総合戦略の基本目標を連動させることで実効性の高い取組を実現することを目指しています。そのため、総合計画の戦略的プロジェクトと総合戦略の基本目標の柱は、前期基本計画及び第2期総合戦略時での考え方を踏まえ4本柱として位置づけます。

なお、国の定める「地方創生2.0基本構想」と総合計画の戦略的プロジェクトと基本目標の4本の柱の関係性は以下に示すとおりです。

■「地方創生2.0基本構想」と桜井市における戦略的プロジェクトとの関係

地方創生2.0基本構想（国）	基本目標①	基本目標②	基本目標③	基本目標④
1. 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生	●		●	●
2. 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生	●	●		
3. 人や企業の地方分散	●	●		
4. 新時代のインフラ [*] 整備とAI [*] ・デジタルなどの新技術の徹底活用	●	●	●	●
5. 広域リージョン連携 [*]	●	●	●	●

2. 戦略的プロジェクト

基本目標① 魅力的な働く場を創る活力のあるまちづくり

働きたい、働きやすいと感じられる魅力ある「働く場」を創出するために、地場産業の活性化や企業誘致の推進、付加価値をつけた6次産業化^{*}に取り組むことが重要です。

<まちの将来の姿>

古の歴史、はじまりの地である背景を持つ本市の豊かな自然環境の中で農林業や素麺、木材等の地場産業が育まれています。また、事業承継を希望する人のために、事業者と起業者のマッチング支援や、新たに起業した人への支援等を行っています。

地域経済を活性化し、雇用の場を創出する産業用地の整備や幹線沿いへの企業の出店を推進するとともに、様々な業種を組み合わせ付加価値を高める6次産業化に取り組むことによって、働きたい、働きやすいと感じられる魅力ある「働く場」が創出され、働く意欲のある全ての人が市内で活躍しています。

■ 魅力的な働く場を創る活力のあるまちづくりの施策・施策の方向性

プロジェクト	施策	施策の方向性
稼げる農林業の創出	農地・森林の整備	<ul style="list-style-type: none"> • 交付金等を活用した生産性の高い農地の確保、高収益作物の商品化等安定した収入を得られる農業環境の整備 • 環境に配慮した持続可能な森林環境の整備
	農林業の効率化の推進	<ul style="list-style-type: none"> • 就農を通じた移住と新規就農者の支援 • 一般建築物における奈良県産材等の普及・利用促進 • ロボットや AI、IoT[*]等の最新技術の活用促進等によるスマート農業化、農林業の高収益化の推進
特色ある工業・地場産業の創出	工業・地場産業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> • 生産の効率化・省力化を推進する DX 等の先端技術の活用促進 • 木材の需要確保及び奈良県産材製品の安定流通の実現 • 三輪素麺等の地場産業の PR 及び販路拡大 • セミナー、個別相談会、補助金を活用した事業承継の推進、及び創業支援によるしごとの創出
	企業誘致の促進を図るための施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> • 地域経済の活性化及び雇用の場を創出する産業用地の整備 • 中和幹線での研究拠点、本社機能、情報通信業、成長分野等、戦略的な企業誘致活動の展開 • 企業立地促進補助金等の優遇制度の拡充による立地促進、雇用奨励

プロジェクト	施策	施策の方向性
集積を活かした商業・観光の充実	商業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> • 空き店舗等の活用、中和幹線沿道(大福地区)等での企業誘致による商業・賑わいの創出 • 業務効率化、販売拡大を推進するDX等の先端技術の活用促進 • セミナー、個別相談会、補助金を活用した事業承継の推進及び創業支援によるしごとの創出
	観光産業の育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の観光を担う観光協会・まちづくり会社の育成・支援・役割強化 • まち全体を使ったガストロノミーリズム[※]・アグリツーリズム[※]・サイクルツーリズム等滞在型・周遊型観光スタイル、旅行商品の創出
6次産業化による地域の価値向上	産業コーディネートによる新たな産業の創出	<ul style="list-style-type: none"> • 6次産業化による農産物の高付加価値化や木材の新たな活用等魅力ある土産物の創出・発掘・発信 • NAFIC[※](なら食と農の魅力創造国際大学校)と連携した観光農園や農家民宿等によるツーリズムの推進
就業支援の充実	就業支援の充実及びしごとの創出	<ul style="list-style-type: none"> • ハローワークとの連携による就業支援 • 企業誘致により立地した企業への市民の優先雇用の働きかけによる就業支援
	既存ストック [※] を活用した定住・転入促進体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家バンク等を活用した転入者への移住支援
情報発信の強化	働く場、産業の魅力の情報発信強化	<ul style="list-style-type: none"> • 県内外でのパンフレット等配布による移住促進、魅力的な働く場の情報発信

基本目標② 地域資源を活かし賑わいを育むまちづくり

本市への人の流れをつくるために、豊かな自然や歴史文化遺産を最大限に活用し、ストレスのない観光を実現するとともに、農林業等と連携した体験型観光メニューやプロモーション戦略の強化を進め、ブランド力を高めた観光資源の情報を発信することが重要です。

また、大都市圏及び海外から本市を訪れる人（交流人口[※]）や、地域と深いつながりを持つ人（関係人口[※]）を増やし、地域を活発化することが重要です。

<まちの将来の姿>

本市は、東と南を青垣山に例えられる山々に囲まれ、古代ヤマト王権発祥の地として、また、邪馬台国の候補地として、全国から注目されています。

また、日本最古の神社と言われる大神神社や「花の御寺（みてら）」としても有名な長谷寺、門前町としての風情が残る三輪や初瀬のまちなみ等の歴史資源が多くあり、このような豊かな自然や歴史文化遺産を最大限に活用し、ストレスなく観光できる環境が整備されています。

さらに、豊かな自然環境の中で育まれた農林業等と観光資源を連携させた体験型観光メニューやプロモーション戦略の強化を進め、ブランド力を高めた観光資源の情報を発信することで、大都市圏及び海外から本市を訪れる人や、地域とつながりを持つ人が増え、地域の活力が維持、向上しています。

■地域資源を活かし賑わいを育むまちづくりの施策・施策の方向性

プロジェクト	施策	施策の方向性
桜井市全体のブランド化	歴史的環境を活かした桜井市のブランド力の強化	<ul style="list-style-type: none"> 長谷寺参道における歩行者の安全性を確保するための一般車両の流入抑制やモビリティ活用の検討、イベント開催等による賑わいの創出 大神神社への来訪者を三輪のまちなかへ誘客するための仕掛けづくりの推進 遺跡への愛着と理解を深める纏向遺跡ガイダンス施設の整備 AR アプリ[※]、纏向犬を活用した市内文化財の魅力発信 市内観光の結節点である桜井駅周辺地区のイベント等による賑わい創出
	地場産品の地域ブランド化	<ul style="list-style-type: none"> 大和さくらいブランドの認定による販売支援、情報発信の強化
	農村資源を活用した賑わいの創出	<ul style="list-style-type: none"> NAFIC（なら食と農の魅力創造国際大学校）周辺の賑わいづくり

プロジェクト	施策	施策の方向性
資源周辺の環境づくり	観光地等の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 観光地や観光地までのルート上の観光案内サインの充実 観光客の満足度、利便性向上のための観光トイレの充実 デジタル化の推進に伴う観光客の利便性向上のための Wi-Fi 環境整備 大神神社、長谷寺等観光地における良好なまちなみの景観づくり 奈良県と連携した周遊観光の利便性を高める道路整備の推進
観光プロモーションの充実	広域的な観光連携、観光プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> 奈良県・DMO[※]・周辺市町村等と連携した体験メニューの開拓や、宿泊者等の特典づくり・サービス向上等のおもてなしプロジェクトの推進 「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録の推進 既存の資源を活かしたガストロノミー・ツーリズム・アグリツーリズム・サイクルツーリズムの推進
	観光客向けの受け入れ・おもてなし環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> 民間によるストーリー性のあるコンテンツ・体験型観光の提供に対する支援 観光客の来訪促進に向けたツアー造成や効果的なプロモーション活動の強化 観光客のニーズに合わせた観光案内ができる観光ガイド等の育成・活用 観光地間の公共交通や自転車利用等二次交通の充実 観光アプリの活用
積極的な情報発信	積極的な国内外への観光情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ターゲットにあわせた SNS[※]やメディアと連携した観光情報発信や VR 等を活用した情報発信 学生、市民等と連携した市民目線での観光情報発信や地域イベントの情報発信 市内の歴史文化遺産の情報発信 地域キャラクターひみこちゃん、纏向犬等を活用した観光情報発信
	関係人口の創出	<ul style="list-style-type: none"> 地域を応援する新たなコミュニティの形成

基本目標③ 子育て世代に選ばれ子どもが輝くまちづくり

結婚、妊娠・出産、子育てがしやすく、また、仕事と子育てや地域活動等が両立できるように、切れ目のない支援を行うことや、子どもを地域全体で見守ることができる環境づくりや、子どもの学力を高めるための教育環境づくりを進めることにより、子育てしやすいまちを目指すことが重要です。

<まちの将来の姿>

本市は、豊かな自然環境、古墳や神社仏閣等の歴史文化遺産が多く残り、大阪等の大都市圏まで1時間圏内とアクセスも優れているまちです。

そのような恵まれた環境の中で、こども家庭センター等の相談環境が充実し、自然学習のできる鳥見山緑地公園や、市内にある多くの公園等の遊具が整備され、子育てのしやすい環境が整っています。

また、学校教育においてはICT※環境やALT※派遣等の環境も整っており、子どもたちが主体的に活動可能な環境やスポーツ等で自己表現ができる環境も整っています。

このように、仕事と家庭、子育て、地域活動等を両立できるまち、切れ目のない支援や地域全体で子どもを見守ることができるまち、子どもの学力を高める教育環境が整備されたまち、これら全てを含めた「子育てしやすいまち」として情報発信を行うことで、子育て世代が魅力を感じ、移住者が増えています。

■子育て世代に選ばれ子どもが輝くまちづくりの施策・施策の方向性

プロジェクト	施策	施策の方向性
子育て環境の充実	保育・教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育所・幼稚園の再編と認定こども園※の段階的整備 質の高い保育・教育環境の整備や提供体制の確保 子どもの健やかな育ちを支える保育・教育の質の向上
	安心して子どもを産み育てるための環境と全ての子どもが健やかに成長できる環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> 多様なニーズに応じた全ての子ども、子育て家庭への切れ目のない支援の充実 経済的負担軽減と生活支援の充実 子育て支援におけるDXの推進とサービスの質の向上
	子どもの遊び場の充実	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが安全に遊ぶことのできる公園・広場等の管理 快適な公園環境を維持するための美化活動の実施 環境学習の場として活用可能な鳥見山緑地公園事業の再開
	子どもの活躍の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> 若者が主体的に活動できる環境づくりの支援 子育て世代・若者に選ばれるような既存事業の見直しの検討
	結婚・子育てを支える社会環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> 結婚・子育てを地域ぐるみで支える社会的基盤と機運の醸成
	子育てに関する情報発信・魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> 子育て・結婚支援に関する情報発信と定住の推進

プロジェクト	施策	施策の方向性
教育環境の充実	学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> • 幼小中学校への ALT 派遣等による語学力、国際力の向上 • 学校教育の ICT 環境整備の推進 • 学校、家庭、地域が連携し、心豊かでたくましいこどもを育む新しい学校整備（小中学校の規模配置の適正化の推進） • 小中学校の施設の整備を行い、安全性と学ぶ環境の機能向上の推進
	人間性豊かなこどもを育む教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> • 家庭教育の支援や歴史文化を学ぶ講演会、研修会等の機会の提供 • 誰もが安心して利用できることを目的とした、社会体育施設、社会教育施設の長寿命化[※]対策の実施

基本目標④ 誰もが安心して快適に暮らせるまちづくり

魅力的な地域をつくるため、また、誰もが快適に安全・安心に暮らせるようにするために、都市機能、健康・福祉施設、公共交通ネットワークの整備、また、災害に強い地域づくりを協働で進めることが重要です。

<まちの将来の姿>

近鉄及び JR 桜井駅周辺地区には子育て支援、多世代交流等の機能が充実し、駅を中心に誰もが安心して暮らせる移動手段が整っています。また、中和幹線栗殿近隣周辺地区では医療・福祉・防災の拠点が整っており、近鉄大福駅周辺地区では奈良県と連携して、「高齢者や子育て世代が生き生きと住み続けられる多世代居住のまちづくり」の実現に向けて取り組みを進めています。

近年、増え続けている災害に対しても、災害に強い通信ネットワークや備蓄倉庫の整備、避難所の環境整備等が進められ、防災訓練等による自助・共助・公助の取組も進んでいます。

さらに、道路等のインフラ、健康・福祉施設や子育て支援施設等の公共施設の整備、維持・管理を進めるとともに、市内外をつなぐ交通ネットワークを確保することで、誰もが快適に、安全・安心に暮らしています。また、一人ひとりの人権が尊重され、それぞれの立場や価値観を認め合って生活しています。

■誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりの施策・施策の方向性

プロジェクト	施策	施策の方向性
集約された都市機能の充実	中心拠点（桜井駅周辺）の都市施設等の維持・充実	<ul style="list-style-type: none"> 立地適正化計画に基づく都市機能の立地誘導 駅前でのシンボル（広場空間）の創出
	中心拠点（栗殿周辺地区）・地域拠点のまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> イベント開催等による市民の交流の場づくり 中和幹線栗殿近隣周辺地区における医療・福祉・防災の拠点づくり 近鉄大福駅周辺地区における生活環境の向上
安心して住み続けられる地域づくり	住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 空き家バンク等を活用した情報提供による空き家の再生、利活用の促進 既存木造住宅の耐震診断や改修、倒壊の危険性の高いブロック塀等の撤去等に対する支援
	小さな拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域[※]での生活利便性や地域コミュニティ[※]の維持・確保に向けた土地利用の誘導
公共交通ネットワークの充実	誰もが安心して暮らせる移動手段の確保	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域等も含め、既存の公共交通サービスの利用を促進するとともに、市民・来訪者の移動ニーズに応じた持続可能な公共交通サービスの確保

プロジェクト	施策	施策の方向性
利用しやすい健康福祉環境の形成	福祉サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> • 地域共生社会[※]の実現に向けた各種福祉サービスの横断的、重層的な連携体制の強化
	地域医療提供体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の医療機関による連携体制及び地域医療提供体制の構築
	健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> • 歯周病や生活習慣病[※](見えないリスク)に早期から取り組む健康管理支援
安全・安心な環境づくり	災害に強い地域づくり、強靱なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> • インフラ施設の長寿命化及び維持管理の推進 • 災害に強いインフラ整備や通信ネットワークの構築 • 備蓄物資等の保管及び大規模災害時に物資輸送の拠点となる大型防災倉庫の整備 • 避難所となる小中学校の施設の空調設備等の環境整備
	自助・共助・公助による安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> • 防災訓練や自主防災組織等による個人や地域の防災力の向上
全ての人自分らしく生き生きと暮らせる地域づくり	一人ひとりの人権が尊重される地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> • あらゆる人権問題の解決を図るための啓発・教育の実施

